

関係団体活動レポート

山形県中小企業団体事務局協議会 令和3年度視察研修会を開催しました



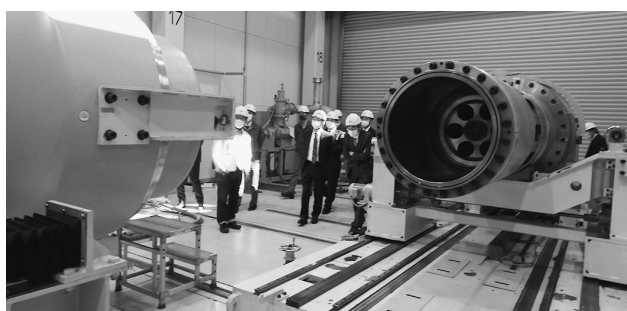
山形県中小企業団体事務局協議会は、11月2日(火)に視察研修会を開催しました。今年度は鶴岡市を訪れ、「史跡松ヶ岡開墾場」と「エルサンワイナリー松ヶ岡」を視察しました。

松ヶ岡開墾記念館では、鶴岡シルク株式会社 代表取締役 大和匡輔氏より、「明治、大正時代は鶴岡でも就業人口の6割を絹産業関係者が占めていた。庄内の絹産業をどうにかしなければ、との思いから事業を始めた。人工クモ糸の開発を続けるスパイバーやウールを手がける寒河江市の佐藤繊維ともコラボレーションし、技術を組み合わせる他にない素材開発をすることで、先人たちの技術を未来につなぎ、様々な可能性を生み出せる。」とのお話がありました。

午後は、エルサンワイナリー松ヶ岡が運営するワイナリー「ピノ・コッリーナ松ヶ岡」を訪問し、工場やブドウ畑を見学しました。エルサンワイナリー松ヶ岡の佐藤裕之氏から、「イタリアのランゲの丘に行った際、アルプスをバックに一面ブドウ畑の風景が月山をバックにした松ヶ岡に重なり、松ヶ岡をブドウ畑にしたいと思った。平成29年に初めて松ヶ岡にワイン用のブドウを植えて、令和2年9月には自社畑からブドウを収穫し初めての醸造を行った。」との説明をいただきました。

参加者は、庄内地区の企業の新たな取り組みについて知り、多くの刺激を受けていました。

山形県工業会 令和3年度視察研修会を開催しました



山形県工業会は11月17日(水)視察研修会を開催しました。

本研修会は、会員製造業の発展に資することを目的に先進的取り組みを実施している企業への視察訪問を実施しているもので、今回はJAXA角田宇宙センター(宮城県角田市)と、ロボコム・アンド・エフエイコム株式会社 南相馬工場(福島県南相馬市)の2社へ訪問しました。

JAXA角田宇宙センターは1965年に開設し、宇宙推進技術に関する材料・要素技術の研究から、ロケットエンジンの開発・試験までを一貫して行う研究拠点です。視察では、機関の概要について説明を受けた後、新型エンジンの研究施設や実際にロケットに組み込まれた部品の展示等の見学を行いました。

ロボコム・アンド・エフエイコム株式会社は、令和3年6月28日に南相馬工場を開所し、最新鋭のロボット技術や自動化生産設備を導入した24時間稼働の工場となっています。視察では、ロボット技術だけでなく、自動化案件へのシミュレーション技術を用いた事業提案等、物流から販売まで一連の流れを精査した事業展開を紹介いただきました。

参加者からは、「技術力の最先端を感じた」「実際に施設内を見学できて勉強になった」との声が多くあり、大変有意義な視察研修会となりました。